



平成23年2月10日

## 第1回「四国女性研究者フォーラム」の開催について

来る2月23日(水)『～女性研究者は未来の宝箱～』と題して、四国で初めてとなる「四国女性研究者フォーラム」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本学は、第二期中期目標・中期計画で「ジェンダーバランスを考慮した多様な人材の登用」を掲げ、男女共同参画の推進に取り組んでおります。

昨年10月1日には、男女共同参画推進室を設置し、出産・育児・介護等支援や相談体制の整備を推進するとともに、地域の機運の盛り上げにも貢献していくこととしており、この度、第1回「四国女性研究者フォーラム」を下記のとおり開催いたします。

これは、本学が主宰し四国内の5国立大学が連携することにより開催するもので、四国地域の国公立私立大学、高等専門学校、試験研究機関、企業等の関係者が集まり、優秀な女性研究者が育成・活躍できる環境づくりについて議論しようとするものです。

我が国初の女性博士は、本県東かがわ市(三本松)出身の 保井(やすい)コノさん(\*) です。本学では、この偉大な先輩に続いて多くの優秀な女性研究者が輩出されるよう、今後とも様々な活動を通じて、地域全体の女性研究者数の拡大や生き生きと働ける環境の整備に貢献してまいります。

### 記

日 時：平成23年2月23日(水) 13:30～ (受付：13:00より)

場 所：かがわ国際会議場(高松シンボルタワー タワー棟6階)  
(ランチ交流会：11:30～ ALICE in TAKAMATSU(事前申込み・参加費別途要))

内 容：別添資料を参照ください。

\* (参考) 保井コノ(1880年(明治13年)～1971年(昭和46年))

日本で初めて博士号を取った女性研究者。1880年(明治13年)香川県に生まれ、香川師範学校女子部から女子高等師範学校理科に進み、卒業後、女学校教師を3年間勤める。1905年(明治38年)、女子高等師範学校に新設された研究科に、最初のただひとりの理科研究生として入学、動植物学を専攻。研究科1年の時に発表した「鯉のウェーベル氏器官について」は『動物学雑誌』に掲載された女性科学者最初の論文。次いでサンショウモの原葉体を調べ『植物学雑誌』に発表。さらにその研究を進めた成果を英国誌『Annals of Botany』に発表し、これは外国の専門誌に載った日本女性初の論文となった。(お茶の水女子大学HPより引用)

以上



Olive heart は男女共同参画推進室のマークです

#### ➤ 問い合わせ先

香川大学 男女共同参画推進室

特任教授 長安めぐみ

TEL：087-832-1055 FAX：087-832-1057

E-mail：sankaku@ao.kagawa-u.ac.jp